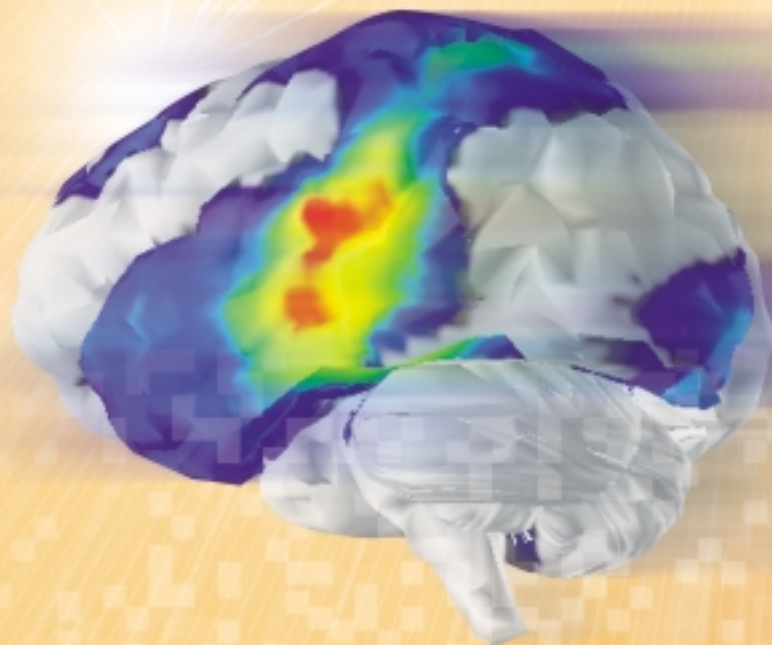


第48回日本神経学会総会ランチョンセミナー7



統計解析手法を用いた 神経疾患の画像診断

2007年5月16日 [水] 12:00—12:50

名古屋国際会議場 第9会場 (131・132会場)

浦上 克哉 先生

鳥取大学医学部 保健学科

座長

iNEUROSTAT+による統計学的画像診断

石井 一成 先生

兵庫県立姫路循環器病センター 放射線科

講演1

iNEUROSTAT+による
パーキンソン症候群の鑑別診断

鈴木 正彦 先生

東京慈恵会医科大学 内科学講座 神経内科

講演2

統計解析手法を用いた 神経疾患の画像診断

Minoshimaraにより開発された統計画像解析ソフト3D-SSP (three-dimensional stereotactic surface projections) は、臨床における診断補助として利用できるようにiSSP、iNEUROSTATとして本邦において広く普及している。今回iSSPはiSSP4としてバージョンアップされ統合ソフトiNEUROSTAT+としてiSSPTomoの機能が付加された。従来のiSSPでは脳表データを抽出した後、Z-scoreを算出していたが、iSSPTomoは解剖学的標準化を行った後、横断面上でvoxel毎にZ-scoreを算出して表示する。iSSPTomoによってこれまでの3D-SSPでは評価が困難であった海馬・海馬傍回を含む内側側頭葉や深部灰白質の評価が可能になった。本セミナーではiNEUROSTAT+を用いた横断面による統計学的画像診断の歩みと有用性およびパーキンソン症候群の鑑別診断について学ぶことができる。

日本脳神経核医学研究会 運営委員

石井 一成

[兵庫県立姫路循環器病センター 放射線科]

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

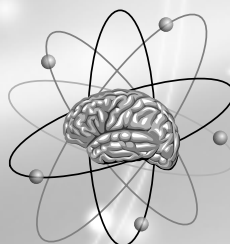
研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F
日本コンベンションサービス株式会社内
E-mail: infojcnn@convention.co.jp
Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN